

2024 年度 駿河学院専門学校
自己点検及び学校関係者評価 報告書

評価：適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	小中学校の対応が変化してきている時代。価値観や多様性に対する受け止め方が問われる時代になった。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	小中の基準が進学先でも通用するという考えがあるのではないか。
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4			4	学校は社会性を学ぶところだが、多様性により壊されていることもあるのではないか。
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3	学校の出欠席に対する考え方に変化がみられるようになった。欠席が必要な程度ではないと思われるようなケースでも「様子をみたい」という理由により欠席が増えている。	専修学校として職業教育の観点から、出欠席に対する考え方の価値観を生徒に限らず、保護者にも理解してもらえりような働きかけをしていく。	3	保護者が学校に求めることも変化しているのではないか。「しつけ」を求める保護者が増えているのでは。

2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			4
定期的なカリキュラムの見直しが行なわれているか	4			4
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	普通科目の教科書については、連携先の高等学校で使用するものを選んでいますが、生徒に合わないレベルの教科書が選ばれている教科（数学）があった。	連携先の高等学校に、本校の生徒に合った幅広いレベルに対応した教科書の採用について依頼を継続的にしていく。	3
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			4
資格試験の合格率は	3	あともう少しで合格できる状況で不合格になってしまった生徒が例年より目立った。 もう少しで合格できるレベルの生徒を合格に結び付けることができる。さらには合格率を上げることができる。	学習する時間を確保するために、放課後だけでなく、夏休み等を活用した学習会等を行う機会を増やす。	3
資格試験不合格者の対策は	3	放課後等の勉強会だけでは時間が不十分になる。 教員側の学習させたいタイミングと生徒の学習したいタイミングが合わなくなっている。	学習の機会を確保することも必要ではあるが、学習するタイミングや学習方法についても生徒に理解させていく。	3
評価は適切な方法で行われているか	4			4
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローが行なわれているか	4			4
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			4

3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	受験の機会を確保するために、私立高等と公立高校の受験の時期にも受験できるようにしているが、公立高校の試験日程に合わせる必要がなくなっている。 私立高校を不合格になる生徒が減少している。	受験の機会を確保しつつ、単願志望者を増やすように、学校そのものの魅力を高める。	3	公立と私立を受けた場合、公立高校に合格した場合は公立高校に行くことになっているみたいだが、どこの学校に行くかは生徒が選ぶべきことではないか。
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4			4	他県では生徒が選べるようになっている。
募集要項の内容は適切か	4	受験料を記載してある振込用紙が別紙形式であったため、受験料がいくらなのかわからない方が若干名ではあるがいた。	募集要項内でわかりやすいところに記載するようにする。	4	公立に行く子と私立に行く子の考え方が変化しているのではないか。
学校見学会の時期、内容は適切か	4			4	多様性に対応できる学校が求められている時代なのではないか。
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4			4	
志願者状況、定員充足率はどうか	3	少子化の時代でもあり、募集定員の見直しから必要になってきている。	当面は単願で受験する生徒の割合を高める努力をしたい。	3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4			4	

4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
専任教員は設置基準を満たしているか	4	今年度については専任教員の数は確保できているが、教員確保の面においては将来的に不安を感じる時代となった。新卒者の問い合わせや受験数が減少している。	大学等への求人案内を継続的に行っていくと同時に教員という仕事の魅力についても伝えていく。	4	教員という職業に対する世間の考え方が変化している時代になっている。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	教員の欠勤が続く時期があり、授業補填が継続的に発生するため、教員の欠勤に備えた教員数の確保を考える必要がある。専修学校は人件費に対する補助がないため、教員数に余裕を持たせることが難しいという課題がある。	教員の欠勤が続くことがないように教員採用時からこれまで以上に考えて採用を検討する。 講師等の人数を増やし、教員の時間数をあらかじめ余裕を持たせた計画にする。	3	教員採用の求人の出し方も変える必要があるのではないか。 大学3年生から受験できるようになってきている。
教職員の業務分掌は明確になっているか	4			4	新卒だけでなく、社会人経験者の採用方法も再検討した方がよいのではないか。
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか	4			4	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4			4	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4			4	

5. 施設・設備等

評 価 項 目	評 価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	学校の前の道路の計画に進展はあったのか。
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	
実習設備は整備されているか	4			4	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			4	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4			4	
保健室は適切に整備されているか	4			4	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			4	
職員室の管理は適切に行われているか	4			4	
事務室の管理は適切に行われているか	4			4	

6. 生徒生活支援

評 価 項 目	評 価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	4			4	特になし
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4			4	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7. 管理・運営

評 価 項 目	評 価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4			4	外国人も増え、文化も違うため、注意が必要になっている。
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。